

# 家畜衛生情報

(H20.3)

## オーエスキー病清浄化に向けた取組みが始動

### ーオーエスキー病とはー

- ・家畜伝染病予防法の監視伝染病の中で届出伝染病に指定された豚の病気。
- ・牛や山羊等反芻家畜の他、犬や猫等にも感染。
- ・感染した豚からは生涯ウイルスがいなくなります。（潜伏感染）
- ・妊娠や輸送等でストレスが加わると眠っていたウイルスが動き出し、体外に排泄。（感染源）
- ・感染源との接触等より感染が成立。
- ・妊娠豚に感染すると母豚はほとんど無症状、胎児は死流産。
- ・生後1週間までの新生豚に感染すると神経症状でほぼ100%死亡。豚の加齢に伴い死亡率は減少。（初感染の場合は週齢・月齢にかかわらず発熱や食欲不振など元気消失の兆候がある。）
- ・豚以外の動物では感染しにくいものの、感染すると掻痒(激しいかゆみ)を呈して100%死亡。

### ー平成20年度からの国での取組みー

飼養衛生管理基準の遵守  
定期的なモニタリングの実施  
効果的なワクチン接種の実施  
感染豚の計画的とう汰  
移動時の清浄性確認

5年後  
→



清浄化に向けた地域的取組に対して集中的に支援

(家畜生産農場清浄化支援対策事業 平成20年度予算 1,219百万円のうち数)

### ー今後の岐阜県での取組みー

- ・**清浄性確認**  
定期的なモニタリングの実施（家畜伝染病予防法に基づく検査：年2回、繁殖豚10%）
- ・**侵入防止**  
移動時の清浄性確認（県外への種豚出荷時、種豚導入時の着地検査）

### 飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。

## －発生状況－

### 岐阜県での発生はありません。

＜オーエスキー病の抗体陽性率（戸数）の推移（％）＞

	1997	2004	2005	2006
全国	5.1	5.5	6.5	6.2
東北	3.5	1.3	1.7	1.3
関東	19.1	20.9	22.3	22.2
九州	3.4	4.3	6.8	4.0

抗体陽性農家数はほぼ横這いで、浸潤地域に大きな変動なし。

＜オーエスキー病の届出件数＞

	1998	1999	2000	2001	2002
全国	6戸472頭	6戸74頭	5戸320頭	10戸487頭	5戸65頭
東北	3戸15頭	—	—	1戸52頭	—
関東	3戸457頭	6戸74頭	5戸320頭	6戸443頭	3戸46頭
九州	—	—	—	3戸92頭	2戸19頭
	2003	2004	2005	2006	2007
全国	3戸16頭	5戸13頭	3戸5頭	6戸98頭	3戸6頭
東北	—	—	—	—	—
関東	3戸16頭	6戸9頭	2戸3頭	4戸39頭	3戸6頭
九州	—	1戸4頭	1戸2頭	2戸59頭	—

農家戸数および発生頭数に変動はあるが、浸潤地域に大きな変動なし。

#### 清浄化推進および準清浄化地域（平成20年1月末現在）

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

## －飼養衛生管理基準について－

### 衛生管理を徹底することで疾病を予防

1. 畜舎や器具の清掃、消毒
2. 畜舎に出入りする際の手指、作業衣等の消毒
3. 飼料や水への排泄物等の混入防止
4. 導入家畜の隔離
5. 人や車両の出入制限・消毒
6. 野生動物や害虫の侵入防止
7. 出荷の際の家畜の健康診断
8. 異常家畜の早期発見・早期受診
9. 過密状態での家畜の飼養回避
10. 伝染病に関する知識の習得

